

奨励品種水稲うるち 西海192号」について

農業研究センター 農産園芸研究所

研究のねらい

本県では、稲の地帯区分別に適地適品種を基本に作付が積極的に進められており、平坦地では「ヒゴノハナ」「コムヒカリ」及び「シンレイ」が栽培されている。

最近、消費者の良食味志向が高くなり、「シンレイ」「ヒゴノハナ」よりさらに良食味品種が要望されている。

このため、平成元年から平坦地に適した中生で、良質、良食味品種の選定を行った。

研究の成果

1. 来歴

コシヒカリ並の極良食味品種を育成目標として、〔(ミズホ/コシヒカリ)F/コシヒカリ〕のFを母「西海170号」を父とした人工交配品種である。

2. 品種特性

- (1) 成熟期は「シンレイ」「ヒゴノハナ」より1日程度早い中生の晩種である。
- (2) 稈長は「ヒゴノハナ」よりやや高く、穂数はやや少ない中稈・偏穂重型である。
- (3) 収量性は「ヒゴノハナ」と同程度か、わずかに低く、「シンレイ」並である。
- (4) 玄米はやや小粒で、腹白、乳白がわずかに認められるが、品質は「シンレイ」並に良好である。食味も良好である。
- (5) 耐倒伏症は、「シンレイ」「ヒゴノハナ」よりやや劣り、中位である。
- (6) いもち病にはやや弱く、白葉枯病には中位である。

3. 普及地域 平坦地域

普及上の留意点

- (1) 耐倒伏性及び止葉の立性は中位であり、多肥条件下では草型が乱れやすく、倒伏のおそれがあるので多肥栽培及び著しく地力の高い水田での栽培は避ける。
- (2) やや小粒で、収量・品質の確保のためには、登熟形質の向上が不可欠であるため、間断かん水の励行、落水期の延長等の水管理に留意する。
- (3) いもち病にはやや弱いので、適期防除に努める。

表1 生育特性

系統名 又は 品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	穂いも ち病
西海192号	8.31	10.13	79	21.8	340	0.1	0.5
ヒゴノハナ	9.1	10.14	78	19.0	423	0.1	0.3
シンレイ	9.1	10.14	70	20.0	395	0.0	0.6

注) 平成元年～平成4年の4ヶ年平均値

表2 収量及び品質

系統名 又は 品種名	玄米重 (kg/a)					玄米 千粒 重	品質	検査等級			
	H1	H2	H3	H4	平均			H1	H2	H3	H4
西海192号	43.9	58.6	47.9	57.0	51.9	21.6	5.0	2.上	1~2	1.下	1.下
ヒゴノハナ	47.5	59.0	51.4	59.1	54.3	22.5	3.9	1.中	1~2	2.上	1.上
シンレイ	44.1	57.3	51.1	56.6	52.3	22.3	4.8	2.上	2	2.下	1.下

表3 食味検定結果

系統名 又は 品種名	食味検定項目						総合評価 における 有意差
	外観	香り	味	粘り	硬さ	総合評価	
西海192号	+0.875	+0.833	+0.542	+0.375	-0.125	+0.833	+
シンレイ	+0.917	-0.208	+0.250	+0.458	+0.083	+0.542	+

注) 農産園芸研究所による(基準米: 農産園芸研究所産ヒゴノハナ)